

総務文教常任委員会

委員長 久保 雅 己

【一般会計】

問 消火栓ホース格納箱について、自治会が申請すれば必ず支給されるのか？また、申請から支給までどのくらいの期間を要するのか？

答 自治会、消防団からの要望を受け、年1回の支給を実施している。新規以外に既存のものを更新・交換することも多々あり、翌年度以降の支給もある。

問 自主防災組織では、訓練などの活動を実施しているが、活動の指導は行っているのか？自治会とは異なる自主組織であるから組織の役割について指導してもらいたい。

答 訓練に係る経費や防災資機材等の購入経費の一部について、補助金を交付している。また、組織が行う防災講演等の活動に対して、講師紹介や職員派

遣等を行ない、組織の育成を図っている。

問 多数の地方自治体が、課題に対する財政需要の確保のため、法定率の引き上げによる地方交付税総額の確保を要望している。この制度を活用し、基準財政需要額に算入されるよう積極的に要望は行っていくべきではないか？

答 多くの市町村から要望されているので、検討して意見を述べていきたい。

問 語学留学の研修先を、フィリピンからハワイへ変更ということは検討したのか？来年度以降もセブ島での実施を継続するのであればその理由を示すべきである。

答 山口大学の協力と、和木・阿武町との調整も必要。フィリピンは英語が公用語できれいな

英語を学べ、安価な人件費によりマンツーマンでの授業が可能であるため、山口大学も研修先としている。現在は集中的に語学研修するためにセブ島を選択しているが、ハワイへの変更については今後、検討していきたい。

問 英語教育を進める中でALTを週あたり小学校1日、中学校15日としているということだが、中学校は受験に対する対応も必要であろうから小学校へのALT派遣の方が、より効果であると考えるが？

答 ALTは中学校配置からスタートしたため、中学校への配置時間が多い状況である。学校のニーズも聞きながら、検討することとしたい。

問 四境の役150年記念事業について、今後どのような展開を考えているのか？

答 リーフレットやDVDを作成し、町外にも発信することができ、シンポジウムのなかで小

歴史に誇りを持たれたと思う。観光と文化をどうつないでいくかが課題ではあるが、一過性にならないよう今後も継続していきたい。



総務文教常任委員会